

茶道部活動報告

普段の活動

部活は、毎週火曜日と木曜日です。火曜日は自主練習をし、木曜日は先生に稽古をしていただきます。

新入生は、五月から袱紗さばき、足の運び方、割り稽古と進んで行き、点前や半束の役割だけでなく、自分がお茶を飲むというお客の作法の練習もしています。上級生は、下級生の練習を見たり、様々なお茶会に向けての練習を行います。



今年の夏休みは、八月上旬の一週間、九月上旬の一週間の集中稽古をしました。八月の稽古では、今年卒業された先輩方を招待する「朝茶会」に向けての練習を、九月の稽古では、十月に行われる「大妻祭添釜茶会」に向けて練習を行いました。

後期に入ると、多くの行事に向けての稽古や準備が本格的に始まり、毎日が忙しくなります。まず、十月の「大妻祭添釜



茶会」です。下級生は広間で棚の点前を、上級生は「大妻庵」で点前の稽古を行います。稽古と平行して茶券作りなどの様々な準備をしていきます。そして、文化祭が終わるといよいよ、十二月に行う「雪待茶会」の稽古、準備が始まります。今年も、創立五十五周年のため茶道クラブ多摩校と高校茶道部との合同茶会という事で、普段以上の緊張感を持った中で稽古に励みました。下級生は立礼席、上級生はかの点前の稽古をします。そして、「雪待茶会」終了とともに上級生は引退となります。その後、初釜などの行事から下級生が中心となり活動をしていきます。

年間行事

一月

初釜茶会

上級生が引退し、下級生が引き継いで行う最初のお茶会です。上級生は招待され、下級生を暖かく見守ります。一年の始まりとともに、新しい茶道部がここから始まります。

二月

送別会

この時に上級生は、浅賀先生からおゆるしとお免状をいただきます。これは茶道部の卒業式のようなもので、浅賀先生と石井先生とともに皆で楽しく食事をします。

四・五月

新入生勧誘茶会

新入生に茶道の楽しさに触れてもらい、興味をもってもらえるように、お茶会を催します。毎年、たくさんの方が見学に来てくれます。

九月

夏合宿・朝茶会

昨年度卒業された先輩を招待して催す「朝茶会」へ向けて、練習を行います。新入生が主役となるので、教える上級生とともに新入生も、皆必死に頑張って作法を覚えます。

十月

大妻祭添釜茶会

学園祭の行事の一環として行われるこの二日間のお茶会には、毎年たくさん他大学の方や一般の方が、来てくださいます。大勢のお客様の前で緊張する中、皆練習の成果を發揮します。

十二月

雪待茶会

靖国神社で行う学外茶会で、普段行う茶室とはまた違った雰囲気の中、身を引き締めてお茶会を行います。上級生は、この雪待茶会を以って、引退することとなります。

大妻祭 添釜茶会

今年の文化祭の添釜茶会は十月十日、十一日に行いました。下級生は広間で、上級生は「大妻庵」で、それぞれ薄茶の席を設けました。

九日の準備日には台風二十二号が関東地方に接近し、予定より大分早く作業を切り上げることになり、当日の天候が心配されましたが、文化祭もお茶会も予定通り行うことができました。ただ、各地で

の被害は大変なものだったようで、こうして無事に文化祭を成し遂げられたことには感謝の思いです。

この文化祭の添釜は、下級生にとつては一般のお客様にお茶をお出しする初めてのお茶会であり、緊張している様子がこちらにも伝わってきましたが、お客様のご感想を拝見する限り、日頃の練習の成果が発揮できたようで、今後へ



平成16年度 大妻祭 添釜茶会 2004年10月10日

4列目左から…根本里美・山越亮子・松澤芽衣子・久野さゆり・小林真寿美
3列目左から…浅葉美紀・新宮真実・細谷圭美・皆川恵理・田中彩子・鈴木清香
2列目左から…本多知佳子・大高山美クレア・内藤美菜・根本祐美・立花絵里子・市川元子
1列目左から…片岡真由美・松下悦子・安達美沙・石井とめ子先生・浅賀宗容先生・針谷美智子・桑裕美・竹原佳美



のよい勉強になったのではないかと思います。
上級生は全員着物を着用し、身も心も引き締まり、それぞれの役割を果たすと同時に、代々先輩方が受け継いできたものの重みを改めて実感しました。
今年の反省点を来年の文化祭に生かし、お客様に満足して頂けるように努力して参ります。



世界お茶まつり二〇〇四東京セッション

「お茶・その魅力とこころ」
「世界お茶まつり二〇〇四東京セッション」お茶・その魅力とこころ」が十一月二日、大妻女子大学講堂及び地下アトリウムに於いて開かれました。主催者の家政学部長・大森正司先生のご好意によりまして、私も茶道部もお茶会を開くという形で参加することができました。

下級生は広間で上級生は「大妻庵」で、薄茶席をそれぞれ設けました。平日にもかかわらず、初めてお茶を飲まれる方からお茶をよくご存知の方まで、多くの方に私どものお茶会へお越しいただきました。お客様からの鋭い質問に戸惑



いながらも、茶席を無事終えることができ、ホッとしております。また、千利休の話から始まり、細かい所作や小間についてなど、より深い茶道の歴史やこころを著名な先生に教えていただきまして、改めて茶道の奥深さを感じました。

お客様の大半が学生という毎年恒例の「大妻祭添釜茶会」や「雪待茶会」とは異なり、著名な先生方やご年配の方が多数茶席に入られたためか、部員の間には普段と多少違う緊張感が漂っていたように思います。十二月に「雪待茶会」が控えていたこともあり、忙しい中での茶会開催ではありましたが、「大妻祭添釜茶会」や「雪待茶会」とは異なった雰囲気を楽しむことができ、部員一同大変嬉しく思っております。

江戸フェスティバル



学生課からお誘いを受け、十一月十三・十四日に日比谷公園にて「江戸フェスティバル」という催しに、参加することになりました。野点という外で行うお茶会は初めてのことで、また立礼を習い始めてから日が浅かったため、緊張や不安の中でお点前をしましたが、お客様からの「おいしかったです。」というお言葉に、とても嬉しく励まされました。

お客様は、小さなお子様や私たちと同年代の方に加え、年配の方や外国の方までと様々で、大変多くの方がお茶を飲みに来てくださり、地域の方々との交流も深まりました。野点を行った会場は、琴の音色やステージで演奏されていた和太鼓の音が響き渡り、趣のある雰囲気、茶室で行うお茶会とはまた一味違うものと



事になりました。お茶会に参加したのは、本学の茶道部だけではなく、東京家政学院大学の茶道部の方も一緒でした。他校の茶道部の方と一緒にしてお茶会をするのはあまりなく、流派も異なったもので、とても新鮮でした。また、慣れない雰囲気の中で戸惑っていたときにも、お手伝いの地域の方々にお世話になり、分からないことも親切に教えてもらい、大変良くしていただきました。このように、いろいろな方々と協力しながら、お茶会は無事に成功しました。

今回江戸フェスティバルに参加できたことは、とても素晴らしい大変貴重な経験となりました。ここで学んだことをこれからの稽古に活かし、日々邁進して参ります。

お道具の紹介

五十五周年記念ということで、今年は新しい茶道具を購入しました。今後、後輩たちに今まで使われていたお道具とともに、大事にされていくことを願っております。



仁清写熨斗絵

京焼・清水焼、三代目中村秋峰氏による仁清写熨斗絵と申します。五色の鮮やかに描かれた熨斗絵が、華やかでとてもきれいなお茶碗です。新たに、このようなすばらしいお茶碗がまた一つ増え、うれしく思います。



三島唐津の数茶碗

唐津焼、十二代日武村利左エ門氏による三島唐津の数茶碗です。器の中には、かわいらしい小花がたくさん描かれています。これまで使ってきた数茶碗とともに、これから部員に愛されていく数茶碗の一つとなるでしょう。

本学茶道部には、創立当初から使われている様々なお道具が、今でも大切に残っております。OGの方々から、お道具を大事に扱う大切さを学ぶことができ感謝しております。

各係より

三年 安達 美沙
針谷美智子

本学茶道部もおかげさまで五十五周年を迎え、私たちがこの節目の時に在籍することができ、大変嬉しく思います。茶道部に入部して、茶道の作法を始めとし、教養や礼儀など多くのことを学ぶことができました。また同時に、お茶会の準備への労力や時間など、大変な部分もありますが、必ず自分へプラスの経験になると思い、これまで部活動に取り組んできました。

今日を以って、私たちは茶道部を引退しますが、これからは後輩たちが、しっかりと後を受け継いでくれると思うので安心です。本学茶道部五十五年の伝統を大切に、部員全員で協力して、これからも茶道部を盛りたててほしいと思います。

最後になりましたが、お世話になりました先生方、先輩方にお礼を申し上げます。今後とも一層のご指導の程、よろしくお願い致します。

【会計係】

当たり前のことではありませんが、会計係の仕事は「お金の管理」です。主に、部員の月謝の集金、先生へのお月謝の支払い、各係りから請求されるお金の支払いや領収書、通帳の管理をしています。今年には五十五周年ということもあり、お金の出入りが多く頭を悩ますこともありましたが、会計係は仕事をこつこつと地道にこなしていくことが大切だと思えます。

【庶務係】

OG名簿・交流大学の住所録の管理・作成、それをもとに四季の御挨拶状や茶会の御招待状、御礼状などを書いておきます。はがきは数年前より印刷に頼っておりませんが、現在でも宛名は手書きで一枚一枚心を込めて書いております。そのはがきを持ってOGや他大学の茶道部の方が茶会に来て下さることは、他の係とは違った喜びがあります。一年ごとに先輩が増えますので、はがきの枚数も多くありますが、その分本学茶道部の伝統を身をもって感じます。

【渉外係】

渉外の仕事は、他大学のお茶会に出席したり、他大学茶道部の学生が一度に集まる交流会に参加したりすることで、他大学との交流を深めることが一番の仕事です。そのため必然的に出費が重なってしましますが、その分、人と人との輪が茶道の和の心につながることを喜びを知りました。

また、送別会という先輩たちが引退してから最初の大きな仕事を任されています。先輩たちを快く送り出せるようにと当日まで懸命に準備をすることは大変ですが、当日皆が楽しく過ごしている姿を見ることができると、とてもやりがいのある係だと思えます。

【道具係】

道具係の仕事は、お茶会で使用するお道具を決め、お茶やお菓子、お花、足りない備品の購入をすることです。お茶会当日には、お湯を沸かす準備のほか、水屋にてお茶会がスムーズに進行できるようにお道具を配ります。準備するものがたくさんありますが、お道具について勉強することができ

きますし、お客様に美味しくお茶を淹れたときは充実感で一杯になります。

【文連係】

文化系の部活動で構成されている大妻女子大学文化連合に属する部活の代表が、文化連合委員です。主な仕事は、月の第一火曜日に行われる文化連合委員会に出席することです。そこで決議された事項や連絡を、部長または副部長に伝達します。そのほか、文化連合委員会の運営などについても話し合います。部活動と学校との橋渡しをする大切な係りです。

【合宿係】

今年は上級生の日程が合わないため、やむを得ず合宿ではなく集中強化練習という形で、夏休みに学校で稽古を行いました。「明茶会」に向け、下級生はつらい稽古を乗り越え、立派に点前・半束の役割を覚えていきます。また、今年には合宿ができなかったため、普段と違う場所で行う合宿の意義を痛感しました。今後もこの伝統のある合宿を、ぜひ

とも絶やすことのないように続けてほしいです。

【文化祭係】

文化祭係の主な仕事内容は、お茶券作りなど文化祭の準備を中心としています。お客様に満足していただけるお茶会にしようとする部員全員で協力しあい、練習や準備に取り組みんでいます。途中なかなか思うように準備が進まずに大変な時もありますが、当日は多くの方々にお越しいただき、お茶会を楽しまれていた姿を見すると、とても嬉しく思います。

【秋季係】

秋季係は、毎年恒例の十二月に靖国神社の茶室で催される「雪待茶会」の準備、手配を中心に行います。毎年一月一日には、靖国神社に再来年の後輩が催す雪待茶会の茶室を予約するために行きます。また、「大妻祭添茶会」が終わると同時に、お茶券の作成など準備に取りかかります。今年には五十五周年記念ということで例年より華やかなものにし、皆で力を合わせて先代

からの伝統を受け継いでいきたいと思えます。

【新聞係】

この新聞係とは、「茶道部だより」に合わせて、五年ごとにつくられる係ですが、今年には部員の数があまり多くなかったため、特に新聞係を決めずに、部員全員で担当することになりました。よって、部員一人一人の個性ある記事に仕上がったように思います。

【編集後記】

この新聞を発行するにあたり、何も分からない状態で始めた私たちでしたが、部員全員が協力し合い、何とか完成することができました。この茶道部だよりによって、大妻茶道部五十五年間の歴史を、少しでも皆様にご知っていただけたら幸いです。最後になりましたが、お忙しい中、ご指導ご協力いただきました先生方及び皆様には厚くお礼申し上げます。